

令和3年度

事業報告書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

令和4年度
自 令和4年4月1日 事業計画
至 令和5年3月31日

令和5年度
自 令和5年4月1日 暫定事業計画
至 令和5年6月30日

一般社団法人
日本弗素樹脂工業会

目 次

1. 会員名一覧表	1
2. 事業組織	2
3. 会員及び役員	3
4. 委員会及び事務局	4
5. 事業活動状況	5
5-1 集会等の総括	5
5-2 会議	6
・総会	6
・理事会	6
・会務委員会	10
・業務委員会	10
・主要会議等スケジュール(実績)	23
6. ふっ素樹脂統計	24
7. 令和4年度事業計画	26
8. 令和5年度(4～6月)暫定事業計画	28

1. 会 員 名 一 覧 表

令和4年3月現在

正会員（ふっ素樹脂加工関係）：21社

会 社 名	会 社 名
有限会社飯田製作所	日建塗装工業株式会社
池田テクノコート株式会社	ニッシンコーポレーション株式会社
イワキコーティング工業株式会社	日星電気株式会社
株式会社大野社	日本ピラー工業株式会社
株式会社喜多村	日本フッソ工業株式会社
光洋化学株式会社	株式会社フロロコート
スターライト工業株式会社	明興工業株式会社
中興化成工業株式会社	株式会社陽和
東邦化成株式会社	株式会社吉田SKT
ニチアス株式会社	淀川ヒューテック株式会社
NiKKi Fron株式会社	

協力会員（ふっ素樹脂製造関係）：4社

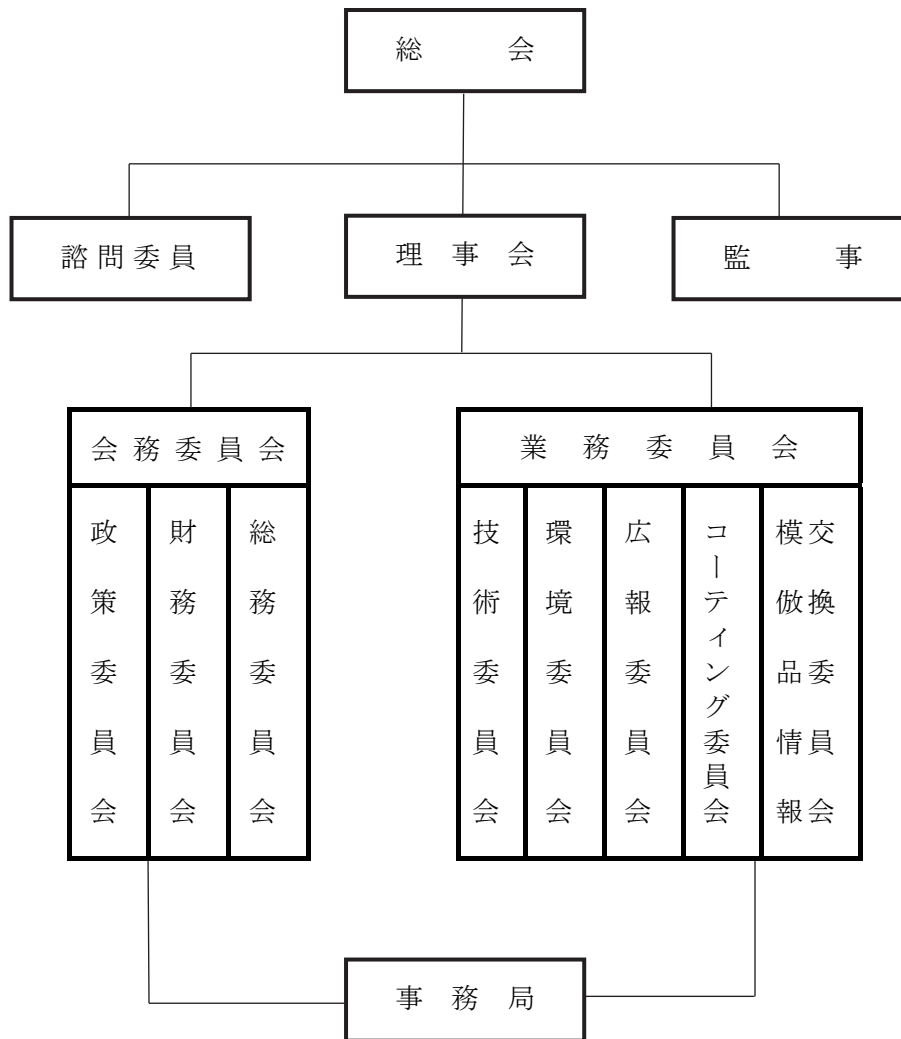
会 社 名	会 社 名
A G C 株 式 会 社	ダイキン工業株式会社
株 式 会 社 ク レ ハ	三井・ケマーズフロプロダクツ株式会社

賛助会員：25社

会 社 名	会 社 名
アルケマ株式会社	田端機械工業株式会社
株式会社NCポリマー	株式会社テクノス
MC山三ポリマーズ株式会社	デュポン・スペシャルティ・プロダクツ株式会社
オー・エス・イー株式会社	株式会社天源
株式会社極東商会	長瀬産業株式会社
ケマーズ株式会社	株式会社ナクロ
幸成商事株式会社	日栄テック株式会社
C B C 株 式 会 社	古川貿易株式会社
株式会社G S Iクレオス	有限会社丸新石油化学
住友商事ケミカル株式会社	三井物産株式会社
スリーエム ジャパン株式会社	三井物産プラスチック株式会社
ソルベイススペシャルティポリマーズジャパン株式会社	三福工業株式会社
大日精化工業株式会社	

2. 事業組織

令和4年3月現在



3. 会 員 及 び 役 員

令和4年3月現在

会 員

会員の種類	会員会社数
正 会 員	21 社
協 力 会 員	4 社
賛 助 会 員	25 社
計	50 社

役 員

役 員	会 社 名	氏 名	代 理
会 長	日本ピラー工業株式会社	岩 波 清 久	駒 口 大 造
副 会 長	株 式 会 社 陽 和	越 出 理 隆	山 田 泰 嗣
〃	淀川ヒューテック株式会社	小 川 克 己	福 本 広 伸
理 事	株 式 会 社 大 野 社	大 野 光 夫	
〃	スターライト工業株式会社	西 郷 隆 暁	西 郷 隆 志
〃	NiKKi Fron 株式会社	春 日 孝 之	
〃	日 星 電 気 株 式 会 社	桐 野 英 彦	木 下 一 秀
〃	ニチアス株式会社	武 井 俊 之	田 邊 智
監 事	中興化成工業株式会社	庄 野 直 之	新 川 武 雄
〃	株式会社フロロコート	諏 訪 部 充 弘	相 沢 哲 夫
専務理事	一般社団法人日本弗素樹脂工業会	清 水 潔	

4. 委員会及び事務局

委員会

区分	委員会名称	委員長		委員数
		会社名	氏名	
会務委員会	政策委員会	日本ピラー工業株式会社	駒口大造	10
	財務委員会	淀川ヒューテック株式会社	福本広伸	6
	総務委員会	株式会社陽和	山田泰嗣	5
業務委員会	技術委員会	日本ピラー工業株式会社	藤井睦	10
	環境委員会	ニチアス株式会社	戸塚優子	12
	広報委員会	ニチアス株式会社	田中律	7
	コーティング委員会	株式会社フロロコート	後閑昭男	8
	模倣品情報交換委員会	—	—	6

各委員会及び委員会社名

(五十音順)

委員会名称	委員会社
政策委員会	大野社、スターライト工業、中興化成工業、NiKKi Fron、ニチアス、日星電気、日本ピラー工業、フロロコート、陽和、淀川ヒューテック
財務委員会	スターライト工業、中興化成工業、ニチアス、日本ピラー工業、フロロコート、淀川ヒューテック
総務委員会	大野社、中興化成工業、フロロコート、陽和、淀川ヒューテック
技術委員会	AGC、大野社、クレハ、スターライト工業、ダイキン工業、中興化成工業、ニチアス、日本ピラー工業、三井・ケマーズフロロプロダクツ、淀川ヒューテック
環境委員会	AGC、喜多村、クレハ、ダイキン工業、中興化成工業、ニチアス、日建塗装工業、日本ピラー工業、日本フッソ工業、フロロコート、三井・ケマーズフロロプロダクツ、淀川ヒューテック
広報委員会	スターライト工業、東邦化成、中興化成工業、ニチアス、日星電気、NiKKi Fron、飯田製作所
コーティング委員会	池田テクノコート、イワキコーティング工業、東邦化成、日建塗装工業、日本フッソ工業、フロロコート、吉田SKT
模倣品情報交換委員会	AGC、ダイキン工業、中興化成工業、ニチアス、日本ピラー工業、三井・ケマーズフロロプロダクツ

工業会・事務局

総括 清水 潔
 経理及び庶務 野口 時代

5. 事業活動状況

5-1 集会等の総括

集 会 等 の 名 称	回 数	出席者数 (延べ人数)
臨時社員総会	1	21
理 事 会	3	33
賀詞交歓会	—	—
会務委員会		
政 策 委 員 会	3	33
財 務 委 員 会	1	6
総 務 委 員 会	—	—
業務委員会		
技 術 委 員 会	2	20
環 境 委 員 会	6	70
広 報 委 員 会	4	28
コーティング委員会	3	20
模倣品情報交換委員会	—	—
その他の会議		
プラスチック加工懇談会（日本プラスチック工業連盟 内）	12	—
その他の活動		
第 86 回ふっ素樹脂講習会	1	87
第 87 回ふっ素樹脂講習会	1	93
ふっ素樹脂 NEWS（会報） 4 回発行	4	—

5-2 会 議

[総 会]

令和3年6月17日、臨時社員総会を書面審議により実施した。

1. 書面審議とした経緯

新型コロナウイルスの感染拡大の防止に関しては、政府から国民及び事業者等へ向け、イベントの自粛等様々な要請がなされている状況である。

かかる状況下、当工業会は本年4月1日に一般社団法人化したことに伴い、三議案について臨時社員総会での審議が必要となっている。このため、上記状況に鑑み、今回の総会は、会員を一堂に会して開催することを見送り、三議案の審議を書面にて諮ることとなった。

このため、6月17日付けで、上記の事情により書面審議することを会員へ文書で知らせ、回答期限を6月30日までとした。

2. 書面審議の議案

第1号議案 令和3年度1~3月 旧『任意団体 日本弗素樹脂工業会』としての最終期間における事業報告及び決算報告の承認について

第2号議案 任意団体当時の事業及び財産の一切を一般社団法人が承継することの承認について

第3号議案 専務理事の報酬等の額の承認について

3. 配布資料

- (1) 令和3年度(1~3月分) 事業報告書
- (2) 令和3年度(1~3月分) 決算報告書
- (3) 臨時社員総会議案についての説明

4. 審議期間

令和3年6月17日~6月30日

5. 書面審議結果

議決権を有する正会員21社へ、3議案の説明文を添付し、承認の賛否を6月30日までに回答をお願いしたところ、正会員全21社から3議案に全て賛成する旨の回答があったので、定款第18条第1項の規定に基づき賛成多数(全会一致)で上程された全ての議案が承認された。

その結果について、7月5日全会員へ通知した。

[理 事 会]

(第1回) 令和3年6月8日、理事会を書面審議で実施した。

1. 書面審議とした経緯

新型コロナウイルスの感染拡大の防止に関しては、引続き政府からの要請等を受け対応

しているところである。

かかる状況下、当工業会は本年4月1日に一般社団法人化したことに伴い、本件三議案について、理事会での審議が必要となった。

新型コロナ禍の現状から、今回の理事会は、会員を一堂に会して開催することを見送り、当該三議案の審議を書面にて諮ることとなった。

このため、6月8日に上記の事情により書面審議の文書を各理事に発出し、回答期限を6月15日までとした。

2. 書面審議の議案

第1号議案：令和3年1～3月 事業報告及び決算報告の承認について

第2号議案：一般社団法人日本弗素樹脂工業会細則の制定について

第3号議案：専務理事の再任及び年間報酬について

3. 配布資料

(1) 令和3年度1～3月事業報告書

(2) 令和3年度1～3月決算報告書

(3) 一般社団法人日本弗素樹脂工業会細則案

(4) 理事会議案についての説明

4. 審議期間

令和3年6月8日～6月15日

5. 書面審議結果

議決権を有する理事11名へ、三議案の説明文を添付し承認の賛否を6月15日までに回答をお願いしたところ、全理事から三議案全て賛成する旨の回答があったので、定款第33条の規定に基づく賛成多数（全会一致）ですべての議案が承認された。

その結果を、6月15日を全理事に対しメールで通知した。

(第2回) 令和3年7月20日、理事会を書面審議で実施した。

1. 書面審議とした経緯

新型コロナウイルスの感染拡大の防止に関しては、引続き政府からの要請等を受け対応しているところである。

かかる状況下、今般、当工業会の総務委員長及び環境委員長において、所属会社の人事異動に伴い退任の申出があったので、後任委員長の選任について理事会での審議が必要となった。

については、新型コロナ禍の現状から、今回の理事会は、理事を一堂に会して開催することを見送り、当該二議案の審議を書面にて諮ることとなった。

このため、7月20日に上記の事情により書面審議の文書を各理事に発出し、回答期限を7月30日までとした。

2. 書面審議の議案

第1号議案：総務委員長及び環境委員長変更の承認について

第2号議案：PFAS協議会の設置について（報告事項）

3. 配布資料

理事会議案についての説明

4. 審議期間

令和3年7月20日～7月30日

5. 書面審議結果

議決権を有する理事11名へ、二議案の説明文を添付し承認の賛否及び報告事項の確認を7月30日までに回答をお願いしたところ、7月26日までに全理事から第一号議案について賛成する旨、第二号議案について報告事項を確認した旨の回答があったので、定款第33条の規定に基づく賛成多数（全会一致）で議案が承認された。

その結果を、7月28日を全理事に対しメールで通知した。

（第3回）令和3年10月6日、理事会をWEB会議により開催した。

岩波会長が議長となり会議を主宰した。

駒口政策委員長が開会を宣し、理事、監事及び委員長各位に対して謝辞を述べる。続いて、理事会は、定款第32条の規定により会長が議長に当たることになっている旨を述べ、清水専務理事へ定足数の確認を求めた。

清水専務理事から、定足数について、理事会構成員全員の出席があり、定款第33条に規定する理事会の議決をするための定足数を満たしており、本理事会は、有効に成立している旨を述べた。

議事に入る前に、岩波会長から参加各位への謝辞及び理事会開会の挨拶があった。

（1）議題第1号「令和3年度上期事業報告及び下期事業計画について」

福本財務委員長から資料1「令和3年収支決算見込み」を基に、9月までの収支予算の執行状況及び令和3年収支決算見込を説明した。なお、一社化に伴う財産の承継状況（新規口座への移行状況の確認）の報告があった。また、清水専務理事が補足として、財産の承継及び契約関係の変更状況等を報告。

続いて、藤井技術委員長、戸塚環境委員長、田中広報委員長から資料2を基に順に各委員会の令和3年度上期活動報告と下期活動計画について説明があった。

なお、戸塚環境委員長から、PFOA連絡会について、平成31年4月に榑喜多村 三國様が主査として発起した連絡会であるが、分析事例研究の投稿作業終了後、今年度中（令和4

年3月末)に散会する旨の報告があった。

また、田中広報委員長からは、HPリニューアルに関し、デザイン候補の説明があり、理事会後、専務理事から本日の理事会出席者に対しアンケート調査を行い決定したい旨説明があった。

また、駒口政策委員長から、令和3年7月20日の臨時理事会で承認を受け、新たに設置したPFAS協議会の設立経緯等について改めて報告があった。

[PFAS協議会の概要]

現在、欧州においてPFASを対象とする幅広いふっ素化学製品に関する規制の動きが進んでいるところ(2025年規制化を表明)。今後の動向次第では、当業界においても多大な影響が懸念される状況である。

かかる状況下、これらの規制の動向についての的確に情報収集し、会員への情報共有を目的とするため、政策委員会の中に「PFAS協議会」を設置し対応することとする。

また、当該主旨により、PFAS協議会の委員長は政策委員長が兼任するとした。

岩波議長は、議題第1号について参加各位に質問及び意見があるかを諮ったところ、全員が異議なく賛成したので承認された。

(2) 議題第2号「その他」

岩波議長から、清水専務理事の任期については工業会細則により規定されており、令和2年3月末の定年(63歳)以降については、任期2年毎の再任であるが毎年の理事会で決定することとなっている旨説明があった。しかしながら、来年3月までの理事会で来年度(令和4年度)の再任の決定をすところ、理事会開催のスケジュール等を勘案し、本理事会で再任の審議を提案したい旨説明があった。

岩波議長は、本提案について参加各位に質問及び意見があるかを諮ったところ、全員が異議なく賛成したので承認された。

(3) 議題第2号「その他」

清水専務理事から、「一般社団法人日本弗素樹脂工業会主要会議棟スケジュール(予定)」について報告があった。これに対し、越出副会長から理事会開催回数について問題ないか質問があったが、清水専務理事から規定に照らし問題ない旨回答があった。

続いて、清水専務理事から「ふっ素樹脂製品出荷額統計 令和3年上半期」を基に、正会員21社の総出荷額などについて報告があった。

総額では、576億円。前年同期比は23.1%増、前期比は25.4%増と、好調であったとの報告があった。

以上で議事が終了したので、岩波議長は、15時00分に閉会の宣言をした。

〔会務委員会〕

1. 政策委員会

令和3年6月8日（書面審議）、令和3年7月20日（書面審議）、令和3年10月6日（WEB会議）に開催した。議事については、理事会と同時開催のため前掲のとおり。

PFAS協議会

令和3年8月26日、第1回PFAS協議会をWEB会議により開催した。

日本フルオロケミカルプロダクツ協議会（FCJ）から、本年7月9日欧州化学品庁よりREACH規則PFHxA規制の最終ドラフト案が公表された内容についてその概要を説明いただき、その後、質疑応答を行った。

2. 財務委員会

令和3年9月17日、WEB会議で開催した。

令和3年度収支状況について、清水専務理事から令和3年4月から9月までの収支実績見込み及び10月以降の収支見込みについて説明。

収入の部については、通常会費は、4月に2社（正会員1社、賛助会員1社）の退会があったため、減収が見込まれる。また、支出の部については、会合費及び資料作成印刷費について、ふっ素樹脂講習会がコロナ禍によりWEB配信方式に変更となったため支出が大幅に減額となっている旨の説明があった。また、その他の科目については予算額の範囲内での執行を見込んでいる旨、詳細な説明があった。

当該収支見込みについては、10月6日開催の理事会に報告することについて、出席委員の同意を得た。

〔業務委員会〕

1. 技術委員会

令和3年9月15日、令和4年3月31日に開催した。

（第1回）令和3年9月15日、WEB会議で開催した。

議事

- (1) 前回議事録の承認
- (2) 欧州環境規制情報共有

6/29 PFAS規制対応ワーキンググループ発足、PFAS規制動向について状況把握することとし、当面の間は変化点があればFCJさんから情報共有いただくこととする。

正式名称：PFAS協議会 メンバー：各政策委員、選抜者 8/26 PFAS協議会開催

目的 FCJ からの情報として AGC 松岡様より、7/7 に欧州化学品庁から公表された PFHxA 規制の SEAC 案についての説明および PFAS 規制の動向説明をいただく。（参考資料：欧州 PFHxA 規制動向_20210826（日本弗素樹脂工業会様）F. pdf）

(3) プラスチック工業連盟関連報告

- 5/14 2021 年 JIS 原案作成公募区分 C 応募なし
- 5/21 TC61 審査依頼 TC61/SC5 議長の任期 3 年延長 賛成投票
- 5/31 SC9 審査依頼 ISO/FDIS 13000-1 および ISO/FDIS 13000-2 賛成投票
- 7/2 2021 年第 1 回 TC61 技術委員会 WEB 会議 出席
- 7/21 2021 年 JIS 原案公募制度説明会 WEB 会議 出席
- 7/30 令和 3 年 JIS 見直し調査 見直し対象なしで報告
- 8/3 ISO TC61/SC9 国内委員会

(4) ハンドブック見直し第 2 ステップ（前回議事）

各章で新しい情報はないか、なくしてもよいものはないか、例えば 6 章、新しい応用、用途例はないか

（意見）

- ・ハンドブック改定 1 3 版で Q&A の内容を入れ込んでいる（技術的な内容を簡単に）。
- ・講習会は短時間なので詳細データ部分をハンドブックに反映させては。
- ・ハンドブック構成の見直し、Q&A 集の見直し、再発行は。
- ・講習会や懇親会の後でいろいろな質問が来ている。フォローした部分をハンドブックに反映させては。

(5) 下期活動計画

日本プラスチック工業連盟 (TC61/SC9) と ISO 規格の審議

都度審議

JIS 規格の改定審議

都度審議

ハンドブックの改定（2 ステップ目）

ハンドブック全編にわたっての見直し、改定準備を行う。

Q&A の対応（外部からの質疑）

技術課題をその都度対応する。

日本弗素樹脂工業会における懸案対応（工業会として対応）

欧州環境規制対応等

(6) その他協議事項

(第2回) 令和4年3月31日、WEB会議で開催した。

議事

(1) 前回議事録の承認

(2) 欧州環境規制情報共有

1/18 環境委員会においてFCJより『PFAS規制の最新動向』についての説明会が実施された。

欧州におけるPFAS規制動向は8月から大きな変化なし。

10/18にEPA(米国環境保護庁)がPFAS戦略ロードマップを公表。

(参考資料: 欧州PFHxA規制動向_2022.01.18説明資料&議事録.pdf)

(3) プラスチック工業連盟関連報告

9/9 TC61 審査依頼 5466 (CIB) TC61/SC4 新議長の承認 賛成投票

10/22 TC61 審査依頼 5476 (CIB) TC61/SC10 新議長の承認 賛成投票

1/11 第2回 TC61SC9 国内対応委員会 WEB会議 出席

1/13 TC61 審査依頼 5487 TC61/SC14 議長指名 賛成投票

1/28 第2回 TC61 技術委員会 WEB会議 出席

2/10 TC61 審議依頼 DIS 5623 賛成投票

プラスチック-熱可塑性プラスチック成形部品の接合-欠陥に対する品質レベルの仕様

2/17 SR 審議依頼 SC9 ISO 20568-1:2017 および ISO 20568-2:2017 賛成投票

Plastics - Fluoropolymer dispersions and moulding and extrusion materials - Part 1: Designation system and basis for specifications

Plastics - Fluoropolymer dispersions and moulding and extrusion

materials - Part 2: Preparation of test specimens and determination of properties

2/18 2022年度JIS原案作成公募 区分B 募集 該当なし

(4) ハンドブック見直し第2ステップ

・168頁参考資料3・・・SDSは環境委員会で見直し中、一部改訂。

・120頁7.4.2.2日本の食品衛生法による試験の表7.3-備考1・・・規格基準の厚生省告示第370号は令和2.12.4付けで厚生労働省告示第380号に改定されている。

・言い回しの整合性が取れていない・・・19頁の抜群、優れる等。

・8頁3.3.1軟質ふっ素樹脂は適切ではないかも。

・149頁なぜ1.1.9フレックスライフだけがASTMではなくJISか。適合規格がなく、紙の規格JIS P 8115に準じて適用している。

- ・改定 12 版から改定 13 版に改定時にかなりのデータを追加したが、追加するだけで精一杯。言い回しの整合性等までは十分校正できていないと思われる。全体的に見直すとなると厳しいので、セグメントに分けて見直すのが現実的。

(5) 来期活動計画

日本プラスチック工業連盟 (TC61/SC9) と ISO 規格の審議

都度審議

JIS 規格の改定審議

都度審議

ハンドブックの改定 (2 ステップ目)

ハンドブック全編にわたっての見直し、改定を行う。

Q&A の対応 (外部からの質疑)

技術課題をその都度対応する。

日本弗素樹脂工業会における懸案対応 (工業会として対応)

欧州環境規制対応等

(6) その他協議事項

(ニチアス倉本氏より)

某社ベルギー工場でフッ素系溶剤の生産中止に関するフォースマジュール宣言が出された。PFAS 規制に関係する事であり、今後、この手の情報があれば共有すべき。

2. 環境委員会

令和 3 年 5 月 18 日、7 月 13 日、9 月 21 日、11 月 16 日、令和 4 年 1 月 18 日、3 月 15 日に開催した。

(第 1 回) 令和 3 年 5 月 18 日、WEB 会議で開催した。

議事

(1) 前回議事録の確認

(2) 新ホームページの対応に関して

A チーム (リーダー: 中興化成 淵上氏)、B チーム (リーダー: 淀川ヒューテック 関根氏)、分担・作成した添付 2 資料を出席委員で確認した。

1) ふっ素樹脂廃棄物リサイクルの取り組み

添付内容で問題なし。今後、新ホームページ掲載に向けて広報委員会に送る。

2) ふっ素樹脂はなぜ使われるのか

使用する写真がホームページに掲載されても問題ないか? タコ焼き器⇒日建塗装工業㈱、

調理写真⇒㈱フロロコート、配管写真⇒日本フッソ工業㈱、写真の出典社を調査し、速やかに確認する。

本内容は3つの用途例で作成されたが、残りのOA機器、免震・滑り材、基板・電池、自動車、半導体、医療等の用途例は、下期の課題とする。

3) PTFE マイクロパウダー中に PFOA が添付内容で問題なし。ただし、題名がセンセーショナルなので見直した方がよいのでは。

⇒広報委員会に提示する際には、題名1行目の削除を含め、題名の見直しを図る（田中委員長）。

(3) 食品用器具製造事業者の届け出に関して

2021年6月1日から食品衛生法第57条によって合成樹脂製の食品用器具・容器包装製造事業者は届け出る義務が生じることに伴い、田中委員長から案内文書の素案が示された。

本素案をもとに議論を行い、その結果を踏まえた文書案を再度、配信協議する。

(4) ふっ素樹脂の種類別名称について

昨年の改正食品衛生法の施行に伴い、ポジティブリスト別表第1第1表（厚生省告示第370号）が公開されたが、ふっ素樹脂は“32. ふっ素置換ポリオレフィン”の名前で分類される等、当工業会で使用する名称とかなり違っており、わかりにくさがあることから名称比較表を共有した。

食品接触材 PLWG では、厚生労働省に PTFE、PFA、ETFE 等の略号や JIS 名をポジティブリストに併記することを申請したが、未だ返事はもらえていない。

(5) 委員の変更

今回の委員会から 淀川ヒューテック㈱ 関根氏から飯田氏へ変更
ニチアス㈱ 大川戸氏から戸塚氏へ変更

(第2回) 令和3年7月13日、WEB会議で開催した。

議事

(1) NHK 放送録画（「あさイチ」家庭用フライパンの特集）の視聴

ふっ素樹脂コートフライパンの使用温度に関し、工業会取扱いハンドブックが引用された。

(2) 100均 BBQ シートの検証報告

(3) ふっ素樹脂コートフライパンの加熱検証・ふっ素樹脂の省エネ貢献 HP

データを工業会サーバに保管する。

(4) PFAS に関する EU 動向

7月半ばに PFAS 規制実施に関する宣言予定。1年後に規制に向けたプロセス案提示。

工業会では来月に PFAS 連絡会を立ち上げる。

(5) 改正食品衛生法について（田中委員長）

- ・コーティング委から厚労省に質問を投げかけている件、進展無し。
（コーティング業者が届出対象となるか・零細業者の伝達対応 等）
- ・環境委としてポジティブリストの経過措置期間中（残り 4 年間）のフォローは必要。

(6) 今後の環境委の取り組みについて（戸塚次期委員長）

- ・廃棄物リサイクルアンケートの実施
昨年度アンケートを修正し会員配布し、10月に集計、11月にまとめ報告。
- ・ふっ素樹脂ハンドブックの SDS 改訂（JIS 改訂への対応）
- ・環境委員各社の PFAS 問い合わせ情報を集約し、連絡会へ提供を検討してはどうか。

（第 3 回）令和 3 年 9 月 21 日、WEB 会議で開催した。

議事

(1) 前回の会議の議事録の承認

(2) SDS の説明

- ・JIS が改訂されたための対応。（JIS Z 7253 : 2019）
- ・暫定措置は 2022 年 5 月 24 日まで。
- ・樹脂メーカーの対応度合い（クレハ：作業中。AGC：作業が終了し、Web へ掲載済み。
MCF：作業中。）

(3) 物理的及び化学的性質

→ 戸塚委員長が樹脂メーカーに確認のため SDS の案を送付する。

(4) ばく露防止及び保護措置

許容濃度：H29 年 10 月 24 日 基安発 102 号

→ マイクロパウダー以外の粒径を戸塚委員長まで連絡する。

（例、ファインパウダー）

加工時の注意（粉塵等への対応）

→ ニチアスより連絡し、次回確認

適用法令

→ 該当法令はない

(5) 廃棄物リサイクル

→ これから依頼し、2021 年 10 月 31 日までで回収する。

(6) PFAS

- ・Call for Evidence

- 各社で提出するか否かを判断するが、工業会としては統一見解としては提出出来ない。コーティング委員会としては動いていない。フロロコートとしては特にコメントは聞いていない。
- ・ PFAS 連絡会の情報は、各社に伝わっている。
- ・ FCJ が最新情報を持っているが工業会として決まったことに関しては、何か触れた方がよいのでは？
- ・ PFAS に関して顧客より質問があったが数は少ない。
 - Call for Evidence の URL が戸塚委員長より連絡される。
- ・ 規制に関しては、公に出来る時には共有したい。
- ・ US では PFAS 絡みの製品を US に輸出した場合、2011 年に遡ってレポートの提出を行わなければならないかもしれない。(まだ案の段階)

(第4回) 令和3年11月16日、WEB会議で開催した。

議事

(1) 前回の会議の議事録の承認

(2) SDS の内容の確認

- ・ 2019 年 JIS 版対応の SDS 案について内容を確認した。

5. 火災時の措置 酸素濃度の記載の有無→記載 8. 暴露防止及び保護措置

日本産業学会の許容濃度の粉じんの記載→「第3種粉塵として」の文言を加える
ACGIH の許容濃度→厚労省の「H29年10月24日 基安発102号」から抜粋して記載

10. 有害性物質 分解生成物→生成物名称は各樹脂で異なるため「別紙参照」として記載
12. 環境影響情報 生産毒性に海洋流出を防止するための文言を記載

- ・ 次回、SDS モデルシートの一覧表の内容について確認する。

(3) 改正食品衛生法の情報共有

・ 10月に厚労省に再質問したコーティング会社、ガスケットシート外注加工会社の届出要否については、厚労省から回答なし。今月中に、届出が可能なように回答すること。

(4) PFAS の規制の情報

- ・ 松田委員より米国の PFAS 規制の情報について説明。

バイデン大統領の公約である環境正義に基づき、米国で PFAS 規制が発表された。
カリフォルニア州では、10/2 に食品用途の容器包装への PFAS の使用が禁止された。
カリフォルニア州で規制された PFAS と OECD で定義された PFAS が同一であるかについて、後日確認する。

- ・戸塚委員長が AGC 松岡氏に依頼し、次回委員会で「米国の PFAS への取り組み」について説明していただく予定。

(5) 廃棄物リサイクル

アンケートは全社から回収済み。集計後、戸塚委員長が報告書案をまとめる。

(第5回) 令和4年1月18日、WEB会議で開催した。

議事

(1) 前回の会議の議事録の承認

(2) ふっ素樹脂の SDS について

前回審議した文言等を修正、下記内容を追加し、最終化、完成。

9. 物理的及び化学的性質に項目追加。「粒子特性：成形品のため適用なし」

(3) 廃棄物調査の結果について

戸塚委員長作成の報告書原案について、内容を審議した。

下記内容を追加・修正して、次回3月の委員会で最終化予定。

- ・廃棄物処理委託費用の過去からのトレンドグラフを作成して、掲載。

- ・元データのチェックを分担（飯田委員、池田委員）

- ・3.2 調査結果まとめに「考察」を端的に記載する。（戸塚委員長）

(ex. 廃棄物量は大きく変化していないが、処理単価は年々上昇)

会員からの要望事項「樹脂原料の包装容器（ファイバードラム）の処分が困難」に対し、次年度、更に調査して工業会としての要望として取りまとめる。

(4) その他

- ・各社への PFAS 関連問合せ状況について

各社の状況は「夏頃までは多かったが、今は落ち着いている」ため、静観する。

その他、環境規制に関する問合せに関して、変化があれば都度、共有化願う。

- ・米国における PFAS への取組について

FCJ（日本フロンケミカルプロダクト外協議会）より、欧米の PFAS 規制動向について説明いただいた。

(第6回) 令和4年3月15日、WEB会議で開催した。

議事

(1) 前回の会議の議事録の承認

(2) 廃棄物／リサイクル調査報告書（案）

参加委員により承認された。

- ・報告書の添付ファイルは前回同様

- ・ホームページの概要版のグラフについては、前回使用エクセルファイルを清水専務から戸塚委員長に送付し、戸塚委員長が作成する。
- ・包装容器（ファイバードラム）については、現状把握のため来年度アンケートなどでのヒアリングを行うことを検討する。
- ・廃棄の可能性があるファイバードラムの回収という行為が廃棄物処理法に抵触するかは、別途戸塚委員長が調査する。

(3) 下半期活動結果

参加委員により計画通り終了したことを確認。

- ・食品衛生法 WG は休止中だが、2025 年 5 月 31 日までの経過措置期間は、環境委員会と WG の兼任メンバーが必要と思われる情報を委員会で共有し、要請があった場合は再活動とする。
- ・PFOA 連絡会は、委員へのメール連絡にて終了とする。

(4) 来期活動内容検討

参加委員により、大きなテーマとしては以下の 3 つとすることで合意した。

- ①法規制関係情報共有(PFAS 動向など)
- ②工業会として LCCO2(ライフサイクル CO2)の排出量算出や集計の検討(2 年計画)
- ③PFOA に対する疑問への Q&A 作成 (会員企業向け)

- ・上記①テーマの準備として、スコープ 1・2・3 の説明を行う

(次回環境委員会にて・名取委員)

- ・会員企業内での PFOA に対する疑問を各委員がまとめて清水専務理事、戸塚委員長にメールする (4/15 まで)。

(5) 担当者交代

日本ピラー工業(株) 羽田委員から井上委員に交代。

環境委員会 PFOA 連絡会

令和 3 年 8 月 4 日、WEB 会議で開催した。

議事

田中委員長ご勇退に伴い、戸塚新委員長より挨拶。

発足時に期待された役割は終えつつあり、連絡会としての活動は残り 1~2 回と思われる。

(1) 一部の充填材入りふっ素樹脂の過粉碎時の PFOA 生成について

分析時の凍結粉碎処理により PFOA が発生する件に関して、名取委員より資料に基づき報告が行われた。

【検証の概要】 ※詳細については別途資料参照

- ・ファインパウダー単体とアルミナ系充填剤が入った材料で、粉砕時間ごとの PFOA 検出量を検証。
- ・ファインパウダー単体では PFOA は検出されず、充填剤入り材料は粉砕時間に応じて PFOA 検出量が増えた。
- ・充填剤入り材料は PFOA 以外のフッ化アルキルカルボン酸類も検出されていることから、分子鎖の切断が推測される。

【コメント・意見等】

- ・別の充填剤での検証結果はあるか。
- ⇒充填剤ごとの発生有無があることは把握しているが、全ての材料で粉砕時間に応じた試験を行ったわけではない。メカニズムについても、触媒的な作用、硬さなど何が影響しているかも検証できていない。

【決定事項】

- ・一般財団法人三重県環境保全事業団との共同研究を行い、事例研究・発表のような形で世に出すことを検討する。
- ・窓口はダイキン工業、ニチアスが行う。
- ・投稿者として日本弗素樹脂工業会の記載を依頼する。
- ・追加の検証事項については都度協議。

(2) BAT 報告の状況

マイクロパウダー製造社からのコメントを以下に記載する。

- ・3省の方針は従来と変更はない。
- ・化審法としての閾値が設定されるということはなく、既存品、PFOA 低減品ともに対象としていることにも変更はない。
- ・問題発生から2年が経っているので、個社の事情に応じた管理目標に変化はあるかもしれない。

【決定事項】

BAT 報告について連絡会の議題とするのは今回を最後とする。

(3) 次回開催予定

共同研究・発表への反響に応じて次回開催を検討する。

3. 広報委員会

令和3年8月26日、9月8日、令和4年2月21日、3月8日に開催した。

(第1回) 令和3年8月26日、WEB会議で開催した。

議事

第77回開催のふっ素樹脂講習会について、講演テーマの確定。講師との調整を図るべく

スケジュール調整を検討。また、来年以降の講習会について、バンクテーマの検討を行った。

(第2回) 令和3年9月8日、WEB会議で開催した。

議事

第87回開催のふっ素樹脂講習会について、講師との調整状況について報告あり。また、今後のスケジュール等について情報共有した。

ホームページリニューアルについて、概要及びデザイン構成等について報告があり、内容について一部検討した。

(第3回) 令和4年2月21日、WEB会議で開催した。

議事

昨年末実施の第87回開催のふっ素樹脂講習会について、実施結果、アンケート結果等から第88回開催予定のふっ素樹脂講習会の実施案について検討した。

今回の具体的テーマの候補、将来のテーマの候補についても検討し、今回のテーマについては、講師依頼先等についても早急に決定のアプローチすることとし、次回の広報委員会に報告することとした。

(第4回) 令和4年3月8日、WEB会議で開催した。

議事

第88回ふっ素樹脂講習会の具体的テーマを決定し、講師等について依頼の進捗状況について報告。また、将来のテーマの候補については各委員に引続き検討を依頼。今回開催の講習会について、今後のスケジュールや収録作業について、検討した。

第86回ふっ素樹脂講習会

開催日時：令和3年7月2日～7月30日

開催方式：動画配信

「プログラム」

①ふっ素樹脂の基礎と応用

ダイキン工業(株) 化学事業部

徳平 勝貞 氏

②ふっ素樹脂の市場動向

三井・ケマーズフロンテック(株)

樹脂営業部

神森 俊邦 氏

③ECTFEについて

- ソルベイスペシャルティポリマーズジャパン(株) 横手 康秀 氏
- ④膜構造建築物用ふっ素樹脂膜材料の概要と今後の展開
中興化成工業(株)
アーキ・エクスポートプロダクト部 田村 成教 氏
- ⑤「需要増が続く半導体」～市場動向と今後の展望～
産業タイムズ社電子デバイス産業新聞 津村 明宏 氏

第 87 回ふっ素樹脂講習会

開催日時：令和 3 年 12 月 1 日～12 月 24 日

開催方式：動画配信

「プログラム」

- ①ふっ素樹脂の基礎と応用
AGC(株) 化学品カンパニー
戦略本部応用商品開発部 和田 真治 氏
- ②ふっ素樹脂の市場動向
ダイキン工業(株) 化学事業部 森上 皇二 氏
- ③ふっ素コーティングの長寿命化について
日本フッソ工業(株)イノベーション推進室 福村 直己 氏
- ④MCFの考える SDGs について
三井・ケマーズフロロプロダクツ(株)
アドバンスト パフォーマンスマテリアルズ事業部門 際 健二 氏
- ⑤自動車産業の現状と今後の方向性
日刊自動車新聞社編集本部 野元 政宏 氏

4. コーティング委員会

令和 3 年 7 月 14 日、11 月 17 日、3 月 24 日に開催した。

(第 1 回) 令和 3 年 7 月 14 日 (一部委員は WEB 出席)

議事

後閑委員長から、食品衛生法の改定に伴う届出制度について、厚生労働省担当課との調整の状況について説明。オブザーバーとして出席の田中環境委員長から「ふっ素樹脂製品取扱マニュアルの改訂について」紹介の他、PFOR の規制の進捗動向、PFAS 規制の動向及び工業会における体制整備の動向について、現状報告あり。また、NHK の情報番組におけるふっ素樹脂コーティングのフライパンについて取上げられた件について、録画を基に紹介。

その他、ふっ素樹脂コーティングに係る関連する動向について、情報共有した。

(第2回) 令和3年11月17日 (一部委員はWEB出席)

議事

後閑委員長から、食品衛生法の改定に伴う届出制度について、厚生労働省担当課との調整の状況等について説明。PFORの規制の進捗動向、分析結果の問題等現状報告あり。また、ふっ素樹脂コーティングに係るJISの見直しの件について情報共有した。

(第3回) 令和4年3月24日 WEBで実施した。

議事

後閑委員長から、「製品分析における前処理工程でのPFOA発生の可能性について」の概要報告、JISの見直しのスケジュール関連の報告、また、耐食ガイドブックの見直し案件についての報告があり、それぞれの意見交換等を行った。

令和3年度 主要会議等スケジュール(実績)

一般社団法人 日本弗素樹脂工業会

会 議 等 名	日	時	会 場	摘 要
財務委員会	令和3年5月24日(月)		(書面審議)	新型コロナ禍の対応により、書面審議とした
会計監査	令和3年5月24日(月)	13:00~14:00		新型コロナ禍の対応により、書面による監査を実施
政策委員会	令和3年6月8日(火)	13:30~15:00	(書面審議)	新型コロナ禍の対応により、書面審議とした
理事会	令和3年6月8日(火)	13:30~15:00	同上	同上
臨時社員総会	令和3年6月17日(木)	11:00~12:00	同上	同上
臨時理事会	令和3年7月20日(火)	12:00~12:45	同上	同上
第86回 ふっ素樹脂講習会	令和3年7月2日 ~7月30日	7月1日~29日	WEB 動画配信	新型コロナ禍の対応により、WEB 動画配信により実施 87名参加
財務委員会	令和3年9月17日(金)	14:00~15:00	WEB 会議	新型コロナ禍の対応により、WEB 会議により実施
政策委員会	令和3年10月6日(水)	未定	同上	同上
理事会	令和3年10月6日(水)	未定	同上	同上
JFIA 親睦ゴルフ会	令和3年10月7日(木)	未定		新型コロナ禍の対応により、中止とした
第87回 ふっ素樹脂講習会	令和3年12月1日 ~12月24日		WEB 動画配信	新型コロナ禍の対応により、WEB 動画配信により実施 93名参加

6. ふっ素樹脂統計

A. ふっ素樹脂生産、出荷、在庫統計

項目 年月	生産		出荷			在庫	
	数量 (ト)	前年(同月)比 (%)	数量 (ト)	前年(同月)比 (%)	金額 (100万円)	数量 (ト)	前年(同月)比 (%)
平成18年	27,779	107.8	27,389	111.9	69,172	5,148	103.9
平成19年	28,498	102.6	27,146	99.1	68,230	6,478	125.8
平成20年	29,276	102.7	28,267	104.1	68,127	7,173	110.7
平成21年	14,687	50.2	16,817	59.5	37,217	4,244	59.2
平成22年	28,173	191.8	27,430	163.1	63,762	4,255	100.3
平成23年	29,046	103.1	27,856	101.6	68,872	5,542	130.2
平成24年	27,233	93.8	25,463	91.4	61,690	6,417	115.8
平成25年	25,234	92.7	26,240	103.1	66,597	5,233	81.5
平成26年	29,201	115.7	28,102	107.1	73,060	5,047	96.4
平成27年	27,610	94.6	26,552	94.5	72,704	4,934	97.8
平成28年	28,374	102.8	27,648	104.1	73,708	4,653	94.3
平成29年	30,151	106.3	29,363	106.2	81,508	5,300	113.9
平成30年	30,886	102.4	32,082	109.3	93,781	4,817	90.9
令和元年	31,912	103.3	29,702	92.9	86,979	5,870	121.9
令和2年 1月	2,879	90.8	2,174	83.2	6,247	6,541	119.3
2月	2,923	105.4	2,271	88.5	6,696	6,822	121.0
3月	2,965	107.5	2,675	100.1	7,799	6,895	122.5
4月	2,014	84.6	2,280	86.1	6,920	6,506	118.0
5月	2,246	88.8	1,925	84.3	6,115	6,596	115.0
6月	1,764	79.1	1,915	77.9	5,729	6,523	116.5
7月	1,464	51.8	1,701	58.3	5,436	6,423	118.0
8月	1,926	60.7	1,420	61.5	4,529	6,752	109.9
9月	1,885	66.9	1,791	82.8	5,373	6,827	104.4
10月	1,282	56.8	2,195	93.2	6,260	5,770	94.8
11月	1,632	65.9	2,065	88.4	5,821	5,275	89.2
12月	2,086	82.7	2,284	95.8	6,845	5,159	87.9
令和2年 計	25,066	78.5	24,696	83.1	73,770	5,159	87.9
令和3年 1月	2,665	92.6	2,267	104.3	6,830	5,489	83.9
2月	2,359	80.7	2,340	103.0	7,283	5,360	78.6
3月	2,474	83.4	2,534	94.7	7,774	5,171	75.0
4月	2,202	109.3	2,392	104.9	7,584	4,538	69.8
5月	2,980	132.7	2,707	140.6	8,119	4,711	71.4
6月	2,882	163.4	2,954	154.3	9,231	4,363	66.9
7月	3,052	208.5	2,858	168.0	8,723	4,319	67.2
8月	3,395	176.3	2,524	177.7	7,972	4,884	72.3
9月	3,100	164.5	2,666	148.9	8,651	5,007	73.3
10月	2,107	164.4	2,834	129.1	8,660	4,073	70.6
11月	2,761	169.2	2,216	107.3	7,549	4,367	82.8
12月	3,055	146.5	2,422	106.0	8,038	4,492	87.1
令和3年 計	33,032	131.8	30,714	124.4	96,413	4,492	87.1

出典：経済産業省・生産動態統計

ふっ素樹脂製品出荷額統計

令和3年（1月～12月）

（報告社数：21社、単位：千円）

品目	需要部門	各種機械製造業							輸出	その他の業種・不詳	合計	構成比 (%)	前期比 (%)	
		電気機械器具		輸送機械器具	精密機械器具	一般機械器具	化学、金属製品製造業	その他製造業						電気、ガス水道業
			(内、半導体関連)											
板		1,358,676	(1,092,032)	18,676	11,782	260,987	139,845	1,041,717	54	79,826	4,887,814	4.1%	162.9%	
パイプ・チューブ		8,598,599	(7,903,429)	1,767,573	5,152,998	167,492	478,221	163,069	286	2,472,535	20,271,112	16.9%	119.1%	
棒		1,098,785	(770,059)	1,480	48,561	227,313	20,935	756,055	0	51,452	3,482,533	2.9%	147.6%	
その他素材		889,929	(888,468)	1,079	46,941	95,147	33,010	137,300	282	4,762	1,637,039	1.4%	231.9%	
テープ		351,906	(65,642)	498,557	100,000	55,374	37,009	60,272	20,182	513,545	2,069,068	1.7%	332.0%	
生テープ		48,586	(336)	89	5	2,455	9,510	147	270,056	345	407,010	0.3%	105.2%	
樹脂含浸製品		232,158	(213)	113,126	432,000	856,660	18,369	452,293	0	710,000	3,178,049	2.6%	186.7%	
コーティング		3,729,174	(3,186,848)	675,150	251,835	1,850,881	1,484,410	1,075,281	0	59,589	10,029,266	8.3%	113.3%	
ライニング		603,245	(451,301)	243,776	5,289	295,003	2,347,138	21,131	19,757	79,222	4,392,410	3.7%	87.4%	
加工品A		16,537,778	(15,076,859)	2,360,411	1,583,260	3,308,381	184,768	1,372,900	29,565	4,492,787	30,816,861	25.6%	132.6%	
加工品B		7,731,685	(5,585,229)	5,334,114	233,286	1,570,837	211,404	15,305	4,162	926,548	16,588,031	13.8%	111.5%	
加工品C		12,293,717	(11,992,887)	1,789,886	804,693	664,820	1,628,847	463,737	282,310	331,870	22,433,066	18.7%	150.5%	
合計		53,474,238	(47,013,303)	12,803,917	8,670,650	9,355,350	6,593,466	5,559,207	626,654	9,722,481	120,192,259	100.0%	129.7%	
構成比 (%)		44.5%	(39.1%)	10.7%	7.2%	7.8%	5.5%	4.6%	0.5%	8.1%	100.0%			
前期比 (%)		140.0%	(152.7%)	121.3%	113.8%	109.8%	98.2%	146.1%	133.0%	149.8%	129.7%			

(注) 1. 上記の出荷額は、現正会員21社分の合計額である。

2. 需要部門の（半導体関連）は、電気機械器具の内数となっている。

3. 構成比の単位未満は、四捨五入しているのと計と内訳が一致しない場合がある。

4. 加工品A：加工品であって、ふっ素樹脂100%のものをいう。

加工品B：加工品であって、ふっ素樹脂の金額が50%以上を占めると思われるものをいう。

加工品C：加工品であって、ふっ素樹脂の金額が50%未満の複合品をいう。

7. 令和4年度事業計画

本工業会は、ふっ素樹脂業界の共通問題の討議及び政府のその他の機関との折衝と、ふっ素樹脂製品の生産向上及び諸産業への応用の推進、利用の促進を図ることにより、ふっ素樹脂産業の総合的な進展と国民経済の繁栄に寄与するとともに、会員の発展、繁栄と会員相互の協調、親睦を図ることを目的として工業会の活動を行う。

〔委員会施策の推進〕

1. 関係官庁とのコミュニケーションの強化
2. 会員の増強
3. 情報収集の強化及び提供
4. 調査統計資料の整備、充実
5. ホームページ、パンフレットによる各種情報提供の充実
6. ふっ素樹脂講習会の充実
7. 標準化の推進（ISO, JIS）
8. 環境及び産業衛生対策の推進
9. その他の事業

〔業務委員会の活動計画〕

1. 技術委員会
 - (1) 日本プラスチック工業連盟(TC61/SC9)と ISO 規格の審議
 - ・都度審議
 - (2) JIS 規格の改定審議
 - ・都度審議
 - (3) ハンドブックの改定（2ステップ目）
 - ・ハンドブック全編にわたっての見直しを行う。
 - (4) Q&A の対応（外部からの質疑）
 - 技術課題をその都度対応する。
 - (5) 日本弗素樹脂工業会の懸案事項対応（工業会として）
 - 欧州環境規制等
2. 環境委員会
 - 開催回数は、6回で、WEB 併用にて開催する予定。
 - 活動内容は、以下を計画している。

(1) 廃棄物リサイクルアンケートの継続実施

昨年度、アンケート回答にあった原料容器包装に関して、追加アンケートを行うとともに、リユース等法的に可能であるか等を検討する。

(2) 工業会製品での LCCO2（ライフサイクル CO2）の算出や集計の検討開始

昨今の脱炭素化の動きより、当業界でも顧客より原料採掘～製品製造時までの CO2 排出量の提出を要求される可能性がでてきたため、その集計方法等について調査し、集計可能か見極める。

可能であれば、次年度以降算出していく。

(3) PFOA 等に対する疑問への会員企業向け Q&A の作成

欧米において PFOA をはじめとする PFAS 規制がすすんでいる。これらに関する素朴な疑問について会員企業向けの Q&A を作成し、工業会内で活用する。

(4) その他

PFHxA、PFAS 規制化状況の情報展開。

国内規制（食品衛生法・労働安全衛生法等）の情報展開

ホームページ掲載内容の確認

環境委員会食品接触材ポジティブリスト検討ワーキンググループ

- ・厚生労働省において、令和 3 年 12 月 24 日公表したポジティブリストについて、再整理を実施し、現在そのリストに対して意見募集中である。本内容を精査し、会員各社への周知を実施予定。

3. 広報委員会

(1) ふっ素樹脂講習会開催

- ・第 88 回講習会開催に向けての広報委員会を開催
- ・第 88 回ふっ素樹脂講習会を WEB による配信で開催（7 月初旬配信）
- ・第 89 回ふっ素樹脂講習会開催（秋、開催方法は未定）

(2) ふっ素樹脂 NEWS の発行

(3) ホームページの定期的な検証の実施

4. コーティング委員会

(1) JIS K6894 「金属素地上のふっ素樹脂塗膜」の見直し調査

(2) 「耐蝕ライニング・コーティングガイドブック」の見直し調査

(3) ふっ素樹脂コーティングに関する問合せ対応

(4) その他

- ・PFAS 規制に関連する情報の収集と対応

8. 令和5年度（4～6月）暫定事業計画

1. 定時社員総会の開催（令和5年6月7日）
2. 理事会・政策委員会の開催（令和5年5月16日）
3. 「ふっ素樹脂 NEWS」の編集・発行
4. 会務・業務委員会の開催
5. その他の事業

令和4年度 主要会議等スケジュール(予定)

一般社団法人 日本弗素樹脂工業

会議等名	日 時		会 場
財務委員会	令和4年5月9日(月)	11:00～12:00	工業会・会議室
会計監査	令和4年5月9日(月)	13:00～14:00	工業会・会議室
政策委員会	令和4年5月17日(火)	13:30～15:00	如水会館
理事会	令和4年5月17日(火)	13:30～15:00	如水会館
定時社員総会	令和4年6月8日(水)	11:00～12:00	如水会館
定時社員総会后昼食会	令和4年6月8日(水)	12:00～12:45	如水会館
JFIA 親睦ゴルフ会	令和4年6月9日(木)		磯子カンツリー倶楽部
第88回ふっ素樹脂講習会	令和4年7月	7月1日～29日	動画配信による講習会
財務委員会	令和4年10月11日(火)	14:00～16:00	工業会・会議室
政策委員会	令和4年11月1日(火)	未定	未定
理事会	令和4年11月1日(火)	未定	未定
理事会後の懇親会	令和4年11月1日(火)	未定	未定
JFIA 親睦ゴルフ会	令和4年11月2日(水)	未定	未定
第89回ふっ素樹脂講習会	令和4年12月	期日時間未定	動画配信による講習会
賀詞交歓会	令和5年1月11日(水)	11:00～12:30	如水会館

《参考》令和5年度主要会議等スケジュール予定

会議等名	日 時		会 場
財務委員会	令和5年5月8日(月)	11:00～12:00	工業会・会議室
会計監査	令和5年5月8日(月)	13:00～14:00	〃
政策委員会	令和5年5月16日(火)	13:00～14:30	如水会館
理事会	令和5年5月16日(火)	13:00～14:30	〃
定時社員総会	令和5年6月7日(水)	11:00～12:00	如水会館
総会後の懇親会	令和5年6月7日(水)	12:00～12:45	〃
JFIA 親睦ゴルフ会	令和5年6月8日(木)	未定	未定